

山陰支部だより

発行&編集：パナソニック松愛会山陰支部
発行人：吉岡保夫 編集人：高橋和久
山陰支部HP：<http://www.shoai.ne.jp/sanin/>

2018年度年次支部総会開催

5月27日、松江エクセルホテル東急において、松愛会本部から上田会長をお迎えし、28名の参加のもと今年度の支部総会を開催しました。

記念講演の前に高橋支部役員より、参加した6名の新入会員を対象に支部の概要など、説明がありました。総会に先立ち、三井住友海上あいおい生命(株)様より「先進医療セミナー」について記念講演をいただき、医学の最先端での治療方法について、具体的に紹介されました。

その後総会に入り、議案書に従い進行し、「支部行事に参加しやすい環境づくりに努め、参加者の増加を目指す。また、支部独自の広報活動を行い新入会員の増加を目指す」という今年度の活動方針、活動計画、役員体制、収支報告、予算計画が発表され、全ての議案が承認されました。

総会后、担当の桑田副支部長から、健康づくり活動説明と健康クイズがあり、健康維持についての学習をしました。その後は恒例の懇親会に移り、お互いの近況や趣味の話などで楽しく盛り上がったものになり、最後に、上田会長からとても良い雰囲気の会だったとの感想を頂き、赤司会員の挨拶と三原会員の三々七拍子をもって散会となりました。



2018年度活動体制 (全て留任)

- ・支部長 : 吉岡保夫
- ・副支部長 : 桑田健治 (会計、健康づくり推進担当)
- ・地区委員 : 赤星啓夫 (社会貢献活動責任者、会報レポート担当)
- ・地区委員 : 高橋和久 (ホームページ責任者、支部報発行担当)

- ・世話役 :
- ・ホームページ委員 : 和田森洋一
- ・米子地区世話役 : 牛尾淳一

活動の状況

・米子出張総会説明会開催 6月9日(土) 参加16名

出張総会説明会&懇親会を米子市のニューアーバンホテルで、行ないました。総会議案書の説明、健康クイズなどの後、懇親会を行い、近況報告など楽しい時間を過ごし、大いに親睦を深めました。



・里山(田和山自然学習の森) 整備

参加人員 : 3月17日(土)5名 / 4月21日(土)4名 / 5月19日(土)4名
6月16日(土)6名 / 7月21日(土)5名 / 8月18日(土)6名



毎月1回社会貢献活動の一つとして行っている、松江市の「田和山自然学習の森」の斜面の整備を行いました。

7月には腐食していた古い木柱を取り除き、「田和山を育てる会」の協力により田和山の樺の木を利用し、支部名と年次を書き、上下に腐食防止の鉄板を装着したものを設置しました。

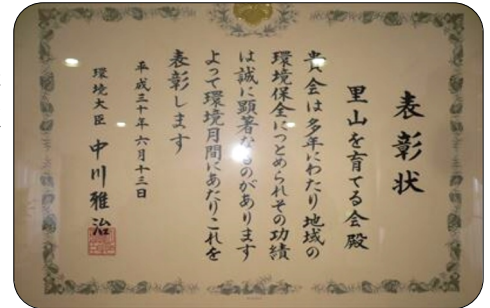


・地域環境保全 環境大臣表彰祝賀会 7月22日(日)

この度、松江市で活動中の『里山を育てる会』が、田和山の森を保全し、小学校の総合学習の支援などの活動が認められ、平成30年度の地域環境保全功労者として、環境大臣より表彰されました。

当支部は、里山の植樹、草刈など、毎月の活動を通してその一部を担っており、祝賀会には支部長が代表で出席しました。

私たちの活動が、微力ながら貢献していることを実感し、誇らしさとともに、今後の活動継続に対しての責任の重要さを、あらためて認識しました。



~ひとこと~

山陰支部でホームページ、支部報、懇親会を担当している高橋です。

イベントがあるたびに更新するホームページの管理や、2回/年の支部報の発行ではいまだに四苦八苦していますが、写真の選択、編集、文章の作成など、楽しんでやっている部分もあります。また、2回/年の懇親会は、最近では新入会員との交流の場にもなっており、意義深く楽しいものになっています。これらの役割の意味は、突き詰めれば、会員一人一人が人や社会とのつながりを如何に持ち続けるか、のサポートをさせてもらっていること、と理解しており、それがやりがいにつながっているような気がしています。

新任支部役員研修の時、会長が挨拶の中で「おめでとう」と言われました。退職後交流相手が少なくなる中、松愛会支部役員としての活動によって、人や社会とのつながりが自然にできる、という意味でしたが、今それを実感しています。全てにおいて前向きな気持ちで、楽しさや嬉しさ、ひいては健康維持にもつながると信じて今後も活動したく思っています。ともに活動しましょう。 支部役員 高橋和久



・松江市水道局 忌部浄水場周辺の清掃(水道週間・環境の日 水源クリーン作戦) 6月2日(土) 参加3名

「水道週間」の一環で行われる、松江市の千本・大谷貯水池周辺の「水源クリーン作戦」に、今年も参加しました。今回が32回目で約50団体、300名の参加でした。快晴無風でこの時期としては暑く感じる27℃、熱中症で体調を崩す人が出る中、千本ダムの周囲4kmをゴミ拾いで歩きました。事務所の二階では通水100周年の行事として浄水場の歴史写真展示とDVD映写が有りました。



・ゴルフコンペ (第64回/第65回)

年度前半のゴルフコンペが2回行われました。

・第64回 4月3日(火) 出雲空港CC 参加16名

気温23℃、時折桜吹雪が舞う爽やかなゴルフになりました。

	氏名	グロス	HC	ネット
優勝	岩村 暢男	86	19	67
2位	山本 佐太郎	87	17	70
3位	赤司 修	90	19	71



・第65回 6月4日(月) 島根GC 参加13名

快晴、無風、梅雨入り前の最高のコンディションでした。

	氏名	グロス	HC	ネット
優勝	林 泰久	90	20	70
2位	高橋 和久	88	16	72
3位	高橋 晴孝	89	16	73



会員情報

～悠久の未知の山河を越えて！ 西村英雄さん～

松江市在住の西村英雄さんは、70歳を超えて今なお登山や山歩きをしておられます。初めての登山は46歳、会社の先輩の誘いで行った立山連峰ですが、その後病みつきになり、毎週登っていたということです。定年後は県主催のくにびき学園に入学し47名の同好会を設立、4回/月の山行で、高齢者の健康維持と親睦に尽くされました。現在までに登った山は国内標高100位までのうち99座、100名山のうち68座の他、海外



ではダウラギリ、モンブラン、マッターホルンなどにも挑戦、枚挙にいとまがありません。現在は所属する会の仲間と、主に中四国の山を日帰り楽しんでおり、登山道環境保護などにも力を注いでおられます。山の魅力は、大自然の生命力に触れ、心の安らぎを感じることに、だという西村さん、今後も、普段から歩くことを心掛けて足腰を鍛え、頭を含めた老化の進行を抑える努力をして、80歳までは登り続けたいと意欲満々です。登山で得たものは多く、この欄だけでは語りつくせないとのことですが、登山時に撮った山や花などの写真を数回/年、山陰支部ホームページの「趣味のギャラリー」欄に投稿いただいております。穏やかな風景などから山の魅力を感じることが出来ますので、そちらも是非ご覧頂きたいと思っております。

・夏季懇親会開催 松江エクセルホテル東急 レストラン「MOSORO」 8月25日(土) 参加19名

恒例の山陰支部夏季懇親会を開催しました。
 今年は、西は江津市から東は大山町までと、遠方からの参加もあり、最高気温36℃という暑さの中、昨年の18名を上回り過去最高の19名が元気に集い、喉は十分潤され、料理も豪華でおいしく、話も弾み、大いに親睦を深めることができました。
 来年も、多くの会員が参加することを期待しています。



・中海・宍道湖一斉清掃 6月10日(日) 参加6名

本年も「中海・宍道湖一斉清掃」に参加しました。
 この活動は、パナソニックの労使とOB会が合同で活動をする“パナソニックエコリレージャパン”に登録されています。
 例年、環境月間の6月第2週に実施され、今回は小雨が降る中でしたが一時間程度のゴミ収集を行いました。



・会員の異動 (期間 2018/3~2018/8)

- ・入会：杉浦清天(米子市) 2018/3
- 谷野譲次(米子市) 2018/3
- 中田博美(伯耆町) 2018/3
- 藤井充夫(松江市) 2018/3
- 山根 誠(米子市) 2018/3
- 安藤明夫(米子市) 2018/5
- 中島広晴(松江市) 2018/5
- 角田浩紀(米子市) 2018/5
- 山本興作(大山町) 2018/5
- 桜木克則(米子市) 2018/6
- 山根修一(米子市) 2018/6

- ・入会：大塚好美(松江市) 2018/7
- 實重亮治(米子市) 2018/7
- 小川 勇(米子市) 2018/7
- 稲干洋一(鳥取市) 2018/8
- 安藤和也(伯耆町) 2018/8
- 石高浩道(米子市) 2018/8
- 泉 講平(米子市) 2018/8
- ・転出：西垣寛文(鳥取市)→兵庫東 2018/3
- ・逝去：和田恒樹(江津市) 2018/3
- 境喜和雄(松江市) 2018/3

9/1現在 山陰支部総数149名

・主な今後の予定

- 町歩き・・・10/27(土) 安来市内 詳細は同封の案内チラシをご参照ください。
- 社会見学・・・11/17(土) 島根原子力発電所 詳細は同封の案内チラシをご参照ください。
- 里山整備・・・10/20(土)、11/10(土) 松江市田和山自然学習の森にて
- ゴルフコンペ・・・11月上旬 (詳細は別途)
- ベルマーク集計・・・2019/2
- 新春懇親会・・・2019/1/26(土) 確定 詳細は別途案内いたします。

後記：昨年度末から今年度にかけて行った新入会員紹介キャンペーンの成果もあり、支部の会員数は一年前より17名も増えました。人数の増加は、組織自体が活性化する原動力になるのは地域社会では経験済みですが、全国一小規模な当支部も、今後の活動がより活発になることを期待しているところです。キャンペーンは今年度継続中であり、以前配布のチラシやホームページも見て頂き、引き続いてのご協力をお願いします。
 (担当：高橋) ホームページ：<http://www.shoai.ne.jp/sanin/>